

これからの子供達に願うこと

棚倉町立学校 P T A 連絡協議会

(近津小学校 P T A 会長)

根本 芳徳 (ねもと よしのり)



インターネットやスマートフォンを使ってのいじめによる自殺や殺人事件などとても痛ましく悲しいニュースがテレビや新聞などで報道されることが、近年とても増えてきています。私の小さかった頃にテレビゲームが出始め、今では子供たち全員と言っていいくらい世の中に普及しています。それとともに様々なトラブルや事件も数多くおきています。使い方に対して、家庭や学校、それに社会全体で対応していかなければなりません。なぜこのような事がおきてしまうのでしょうか。

昔は良かったなあと思う時がたまにあります。それは年齢を重ねてきたせい、世の中が変化してきたせい、よくわかりません。私は、二人の娘を持つ親として、一緒に遊んだり、話をしたり、たまにケンカをしたりして毎日を過ごしています。

その毎日の生活の中で自分の小さかった時はどうだったかなあと今の子供達の生活と比べる時があります。習い事を始めたきっかけや自宅に帰ってからの行動、休日の過ごし方など、様々な事で今の子供達は幸せだなあとか、今の子供達は大変だなあとか、色々な思いで見えています。

昔読んだ漫画のワンフレーズで「昔は今よりも物が豊富じゃなかったし、便利なものも決して多くなかったけどみんながのびのび生活していた様な気がするね。」という言葉がとても印象に残っています。その言葉を読んだとき、昔の思い出が頭の中によみがえり今の子供達は昔のような遊びができにくい世の中になったなあと感じ、少し寂しい気持ちになりました。

これからの子供達がどのようにすればのびのびと成長していくのか、私達親が何をしてあげなければならないのか真剣に考え、子供達と接していかなければなりません。

勉強が得意な子、スポーツが好きな子、絵を描くのが上手な子、たくさんの可能性を子供は持っています。

私は、小中学生は毎日の家庭生活や学校生活の中で色々なことを経験し、褒められたり、怒られたりを繰り返して、一つ一つ大切なことを学んで少しずつ成長していくものだと考えています。子供達のために心を込めて誉めてください。真剣に叱ってください。誉められたときの笑顔で心がとても豊かに育ち、叱られた時の泣き顔で反省する気持ちや落ち込んだ時の気持ちの整理の仕方を覚えるのです。特に叱られる事の大切さを最近感じています。小さい頃におじいちゃんの大切にしていた鯉を飼っている池で釣りをしてしまい、もの凄く怒られた事を覚えています。その時泣きながら謝り反省し、二度とやってはいけないと心に決めた事を思い出しました。叱られる事で物事の良し悪しに気づき、叱られることで心が成長していくものだと考えています。

怒られたくない、叱られたくない、我々大人でもそう思います。仕事でミスをしたり、失敗した時は、上司から叱られる事がありますが、その時に反省することができ、前向きな気持ちで仕事に取り組むことができるのは、子どもの時に、親や学校の先生方、近所の大人の方々がいたずらなどをした時に真剣に向き合って叱って頂いたおかげで心が成長できたからだと思います。

私がこれからの子供達に願う事は、たくさんのことを覚え成長していくには、あまり便利な物に頼らず、とにかく体を動かし、自分の頭で考え、眼で見て、耳で聴き、手を使って文字や絵を書き、足を使って行きたい場所へ行く、一つ一つを体で覚えることがとても大切です。そうすれば、心も体も必ず豊かに成長していきます。未来ある子供達みんなに、明るく元気で心豊かに成長していく事を願っております。